

今月のテーマ

## 「地球温暖化～2」（今、地球で何が起こっているのか？）

地球温暖化によって引き起こされていると考えられる現象について見ていくましょう

### 海面水位の上昇、海岸の侵食、生態系の変化…。 世界中で、地球温暖化による危機が起こっています

前回は地球温暖化のメカニズムをお話しましたが、今回は実際にこの地球に何が起こっているのかを考えてみましょう。

温暖化は人為起源による温室効果ガスの増加による可能性がかなり高いとIPCCも報告しています。地球の温度変化は顕著であり、熱波や干ばつ、大雨などの異常気象による被害が頻発しているのです。2006年には世界の各地で被害が続出。ヨーロッパや北アメリカは熱波となり、アジアは大雨や台風の被害を受け、東アフリカは長期の干ばつの後に、いつも以上の激しい雨による被害を被りました。

地球温暖化の影響の一つである『水問題』。人口の増加によつて、世界の水資源は今後びしくなると予想されています。それは、干ばつによる砂漠化や、氷河や雪に蓄えられている淡水資源が減少するからです。主要な山岳地帯からの恵みを受けている人々は、現在、世界人口の6分の1以上を占めており、乾燥化もかなり危機的なファクターなのです。また、2003年夏のヨーロッパの熱波は記憶に新しいところ。フランスやドイツを中心には異常高温の日が2週間続き、フランスでは1万4800名の死者を出したました。また、2005年8月にはアメ

リカのニューオリンズに巨大ハリケーン「カトリーナ」が上陸。市の80%が冠水し、死者の数も1000名を超えるました。海面温度の上昇により、こうした強いハリケーンが発生しやすくなると考へられているのです。

また、極地にも大きな被害が出ています。北極海の温暖化が急速に進んでおり、夏の海水面積は顕著な減少傾向を示しています。IPCCの第4次報告書では、北極海の海水は今世紀末になくなる可能性があるとしています。氷

が溶けて海水面が増えると、海水が太陽光を吸収し、海水温度を上げ、北極圏の気温上昇がさらに加速するのではないかと考えられています。また、グリーンランドでは、巨大な氷床に影響が出ています。人工衛星の観測によると、

グリーンランド氷床は2002年～2006年の間に、毎年150～250 Km<sup>3</sup>減少しています。この氷床の融解は、世界の海面水位の上昇をもたらすだけではなく、全地球規模での海洋循環や気象変動に影響を及ぼすと考えられています。また、南極大陸でも異変は起きており、南極の西南極氷床では、将来、氷床のバランスが崩れ、大量の氷が失われる可能性があると指摘されています。

また、太平洋やインド洋のサンゴ礁の島々では、海面水位が上昇し、海岸の侵食、高潮による被害も最近ではよくテレビや新聞で目にする光景です。他にも、生態系の変化や森林面積の減少、 Dengue熱やマラリアが温帯地域に拡大するなど、現在進行形で起こっている地球温暖化の危機も数多くあります。

さて、では何か対策はあるのでしょうか。次回はそれらを考えることにします。

#### ハリケーン・カトリーナ (2005年8月末:アメリカ)



NASAによる衛星写真



水没による被害の様子

2008 AUGUST

社会問題・環境問題  
に目を向けよう!

京の夏の風物「大文字焼」。この送り火には、お金に帰ってきた精霊が再び冥府に帰るのを送るという意味を持つようです。祇園離子のコンコンチキンの音で夏が始まり、8月の五山の送り火が消えると京の暑い夏も終わります。

2008年8月発行  
発行:前田由紀夫  
編集:(株)バブルス  
株式会社円昭 HP  
<http://www.enshow.com>



### 真夏日と猛暑日

「猛暑日」とは一日の最高気温が35℃以上の日をいい、2007年4月1日から気象庁が使い始めた用語である。夏の暑い日を示す用語に「真夏日」もあるが、これは一日の最高気温が30℃以上の日を示している。しかし、最近最高気温が35℃を超える日が急激に増加しているため、猛暑日という用語を耳にすることが多くなった。なお、一日の最高気温が25℃以上の日を「夏日」という。また、夜間の最低気温が25℃以上の夜を「熱帯夜」という。

# Talk Session #6

“平成20年度のテーマは?” ズバリ「環境」です



enshow Corporation 代表  
前田 由紀夫



企業家応援団  
鈴木 世津

**鈴木**：200年住宅ビジョンは、昨年5月に自由民主党 政務調査会の福田康夫 住宅土地調査会長によって発表されました。これは国民に浸透していくとお考えですか?

**前田**：これまで本当に様々な事件が発覚しましたが、それらを経て今年は、ゼネコンと官僚による談合によって一部が利益を上げるという構図はなくなるのではないかという雰囲気を感じています。そして、もうそろそろ「ストック型の社会」になっていく気がしています。

**鈴木**：国民の不安意識、併せて環境問題がそれを要請している状況だということですね。

**前田**：そうです。せっかく高い住宅を買っても最後に売れないものになってしまうのは、皆さん嫌でしょう。原油高となり、環境問題が表面化して、それで相変わらず新車・新築にこだわった生活なんて続けられないでしょ? 国民も気付き始めていると思いますよ。それプラス、技術の前向きな革新も少し期待しながらね。

**鈴木**：先ほど、我々ももっと勉強しなければならないというお話を出ましたが、今年は、勉強

に関してどのような取り組みをしていかれますか?

**前田**：具体的には、不動産のパフォーマンスの評価から入っていきます。それをしてことで、どれだけの可能性があるかを検証していきます。そしてコツコツと情報収集と研究を続け、外へ向けて発信します。また、環境反対派の意見、理論も無視してはならないですね。異なる立場の彼らの言うことから、新しい視点に気付かされることが非常に多いですから。彼らに応戦できるようにしなくてはなりませんし、結構良いポイントをついてきますから。

とにかく、この「偽装」という世の中をどうにかしなければいけませんね。一昨年の耐震偽装から始まり、食品偽装、そうそう年賀状もですよ。ついには「エコ偽装」という言葉が生まれました。

**鈴木**：そうですね。「偽」という言葉は、一昨年からちらついていた影です。あらゆる業界に潜んでいたものが、芋づる式に露呈されましたね。

**前田**：疑ってばかりで嫌な社会ですが、実はその奥には「信じたい心」があるから疑うんです。それが人間の本当の気持ちです。

**鈴木**：疑うことは、検証作業でもありますね。

**前田**：例えば、今回の古紙配合率の偽装問題にも隠された事実があります。「環境に良いです」としてエコ認定マークを付してしまったが、古紙再生はバージンパルプで製紙するより、実はより多くのエネルギーを要して、CO<sub>2</sub>排出も30%ほど増えるのです。大変な作業ですが、本当に良いものとは何かを追求していくことが重要です。私たちが目指すべき姿は、これからもずっと存続できる社会なのです。そこには人々が協力し合う構図があります。今は核家族化が進み、人間関係が希薄な社会に進んでしまいましたが、「快適な暮らし」を追求していくと、私のそもそもの研究テーマ「コミュニティー」の部分に繋がっていきます。誰しも良い自治体、自分と価値観を共有できる人々の集まる場所に住み移り、子供を育てていきたいと思いますよね。それを実現するためにも、今こそコミュニティーの価値を再認識することが必要なのです。最後はやはり、人ととの繋がりです。

## コ・ラ・ム

### 日本三大美林 (青森ヒバ 秋田スギ 木曽ヒノキ)

\*青森ヒバ = 他の樹種に比べて成長するのに2倍以上の歳月が必要。北国の厳しい風雪に耐えて、じっくり成長するので、密度が高く、しっかりとした材となる。抗菌、耐蟻、耐久性に優れる。岩手県平泉にある中尊寺金色堂(1124年(天治元年)完成)は全体の93%が「青森ヒバ」を使用。

\*秋田スギ = 日本一の蓄積量を誇る。品質の良い杉材が豊富にある。木造ドームで世界最大級の大館樹海ドームは長径178m。世界最長のスパンを構成。

\*木曽ヒノキ = 最高の建築用材。木曽地方では、尾張藩管理のもとで、木材資源を減らさないように、いつでも材木を供給できる森づくりをしてきた。400年経った今でも文化財の修復、伊勢神宮のご用材として使用される。

## お勧めの一冊

### 神社とお寺の基本がわかる本

著者:武光 誠、グレイル

出版社:宝島社新書 ¥735(税込)



寺と神社の入門書と銘打っていますが、少々マニアックです。しかし、この一冊でお寺と神社のしきたりが楽しく理解できます。神と人を結ぶ「参道」は端を歩くのが礼儀。伊勢神宮は八度拝八開手、出雲大社は二拝四拍手一拝。神様のお使い「狛犬」はバビロニアのライオン像がルーツ。木魚の語源は眠らない生き物と考えられていた「魚」。等々、基本的なことから応用編まで参拝のノウハウを図と共に優しく解説してくれます。平成25年に行われる20年に一度の伊勢神宮式年遷宮も、この本で勉強しておけば、参拝が数倍深いものになるでしょう。

**COOLBIZ チーム・マイナス 6%** <http://www.team-6.jp/>

株式会社 円昭(enshow corporation)では地球温暖化防止のためCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組む「チーム・マイナス6%」に参加しています。京都議定書では、地球温暖化を防止するために、2012年までに1990年比6%の温室効果ガス削減を約束しています。しかし2005年度における日本の温室効果ガスの排出量は、7.8%上回っており、温暖化対策をより強化する必要があります。微力ですが、将来の地球のためにできることから行動することを宣言します。

株式会社 円昭

〒466-0031  
名古屋市昭和区紅梅町3-4-2  
TEL: 052-841-2701  
FAX: 052-841-4301  
mail@enshow.com  
<http://www.enshow.com>